

## 2016年度 長期在外研究（特例）活動報告

平田 大輔（文学部）

9月26日～10月1日 ブリスベン ITFトーナメント 25000ドル

クイーンズランドテニスセンターでITFプロツアートーナメント25,000ドルが行われました。今年度の紀要にも投稿してもらいましたが、グランドスラム大会に出場するためには男子であればATPポイント、女子であればWTAポイントを取得しランキングを上げていく必要があります。そのポイント獲得のための下位トーナメントにあたります。

この大会会場は1月初旬に行われるブリスベン・インターナショナル大会で使用される会場になります。1月の全豪オープンの出場を目指し、ランキングを上げたい選手はこのような大会に出場しています。日本の男子選手は参加していませんでしたが、女子選手は昨年全日本テニス選手権大会優勝者の穂積絵莉選手（WTA199位）、加藤未唯選手（WTA185位）、美濃越舞選手（WTA627位）、華谷和生選手（WTA862位）が出場していました（ランキング9月26日付け）。美濃越選手は当時高校生だったときに専修大学にスカウトした選手でもあります。大学に進学せずプロ選手として活動していました。また、美濃越選手のコーチとして帯同していた長久保コーチは、専修大学のリーグ戦期間中などコーチとして帯同してもらっていたこともあります。偶然の再開でいろいろと話をすることが出来ました。

2面のみですがビデオカメラが設置されていました。



美濃越選手と長久保コーチ



9月19日から25日 アデレード ピーター・スミステニスアカデミー

ピーター・スミス氏は元ATPランキング1位のレイトン・ヒューイト選手（現デビスカップ監督）のコーチです。このテニスアカデミーには専修大学テニス部OBである大谷さんがコーチとして働いています。ピーター氏と大谷さんとは、今回の在外研究の目的であるテニスのアンフォースドエラーやコーチングについて話をする機会を持つことができました。

ピーター氏の指導については、ジュニア選手やプロ選手であっても基本的に指導方法は同じで基本をととても重要視していると感じました。また、テニスが非常に好きな方で大谷さんの話によると一日中、テニスコートにいるとのこと。雨が降ったあとの水掃きは積極的にピーター氏が行っていました。見習わないといけないですね。。

ここの施設はハードコート8面、アンツーカーコート4面、芝のコート（夏季のみ）8面あります。その他、屋外、屋内プール、トレーニング場などフィットネスクラブとしても使用されています。私がいるクイーンズランド州とアデレードのある南オーストラリア州とは学校の休みが2週間ずれています。よって、今回滞在したときは南オーストラリア州はまだ学校期間中でジュニア選手は夕方からレッスンになっていました。



左写真 大谷さんと  
中央写真 ピーター氏と  
右写真 レッスン風景



芝のコートは11月からの仕様に向けて準備中でした。残念ながら芝でのプレーはできませんでした。



ピーター氏と大谷さんの他、ピーター氏の息子ルーク・スミス氏がいます。ルーク氏はデビスカップ候補選手でした。